

ECO PRESS



2018.11

9

ようこそ、エコの両生類・爬虫類ワールドへ。



シリケンイモリ



ECO



学校法人 産業技術学園
ECO 北海道エコ・動物自然専門学校

〒061-1373 北海道恵庭市恵み野西5-10-4

☎ 0120-36-8219

heco.ac.jp/



犬猫だけじゃない!!
ECO両生類・爬虫類図鑑
在校生に聞いた両生類・
爬虫類のミリョク
佐々木先生が語る両生類・
爬虫類の面白さ

犬猫だけじゃない!!

ECO 両生類 爬虫類 図鑑

カッコいい&かわいい&大迫力!!エコには全74種類の両生類と爬虫類が住んでいます。その一部を大紹介!!



① グランディスヒルヤモリ
学名: *Phelsuma madagascariensis*
体長最大24cm。マダガスカル東部に分布。標高1000m付近の森林に生息しており、樹上棲である。雑食で昆虫や節足動物、果実、花の蜜などを食べる。



② メキシコサンショウウオ
学名: *Ambystoma mexicanum*
体長10~25cm。幼生の形態のまま性成熟(幼生成熟:ネオテニー)する。CMで使われた名前からウーパールーパーと呼ばれることが多い。



③ アメイロイボイモリ
学名: *Tylostrotion verrucosus*
体長12~22cm。標高1000~2000mの山地に生息。名前の通り体色が鈍色(オレンジ)で、背中にイボのような突起があることが特徴。



④ マルメタピオカガエル
学名: *Lepidobatrachus laevis*
体長11~12cm。オスはメスの半分くらいの大きさにしかない。頭部が大きく体の1/3を占める。名前の通り虹彩が丸い。



⑤ エソサンショウウオ
学名: *Hynobius retardatus*
体長11~18.5cm。北海道固有種。小さな昆虫類やクモを食べる。非常に隠れたがる性質を持っており、たまに石の下や朽木の下から見つかる。



⑥ エメラルドツリーポア
学名: *Corallus caninus*
体長最大180cm。熱帯雨林に生息しており、樹上棲で、昼間は枝の上でどろろを巻きじっとしている。神経質で気性が荒く、鋭い牙があるので扱いには注意しなくてはならない。



⑦ クランウェルツノガエル
学名: *Ceratophrys cranwelli*
体長7.5~12.5cm。頭部が大きく、全体的にずんぐりした体つき。乾季になると地中で休眠するが、乾燥を防ぐために菌のようなものを作り保護する。



⑧ ミッツノコノハガエル
学名: *Megophrys nasuta*
体長7~12cm。メスの方が体が大きく12cmを超えるものも見られる。体つきや体色が木の葉に似ていて、動かずにじっとしていると見つかることが難しい。



⑨ ヒョウモントカゲモドキ
学名: *Eublepharis macularius*
体長20~25cm。ヤモリの仲間だが、指先に趾下薄板が無いので壁面などには張り付かない。尾と前足の付け根に栄養分を蓄える。



⑩ ヨーロッパアシナシトカゲ
学名: *Ophisaurus apodus*
体長最大120cm。四肢が退化しており一見ヘビと似ているが、喉や耳孔があること、尾を自切することで区別することができる。



⑪ ダニューブクシイモリ
学名: *Triturus dobrogicus*
体長オス14.5cm、メス16cm。体色は茶色の体に頭部から体にかけて白いスポットが入り、腹部はオレンジ色で黒い斑点がある。



⑫ ケツメリクガメ
学名: *Geochelone sulcata*
甲長最大83cm。サハラ砂漠の南側に分布。ガラバコスゾウガメ、アルダブラゾウガメに次いで3番目に体が大きい。名前の通りニワトリやキジに見られる「蹴爪」がある。



⑬ パンケーキリクガメ
学名: *Malacochersus tornieri*
体長14~20cm。パンケーキの名前の通り、甲羅は平らで柔らかく、弾力性がある。狭い隙間に潜りやすくなるためと考えられている。



⑭ マタマタ
学名: *Chelus fimbriatus*
体長最大45cm。外見はボロボロに朽ちた枯葉のようになっており、周囲の枯葉や岩石に擬態する。肉食性で生きた魚などに餌付きやすい。



⑮ アオダイショウ
学名: *Elaphe climacophora*
体長100~200cm。日本固有種。日本本土では最大のヘビで、南西諸島のハブなどに次ぐ大きさ。体色は主にくすんだ緑色であるが、北海道では青みの強い個体が多い。



⑯ ノドジロオオトカゲ
学名: *Varanus exanthematicus*
体長180~200cmになる大型のトカゲ。アフリカ東部の草原や、サバンナに生息している。体色は灰褐色に近く、白い斑点がある。小動物や鳥などを食べる。



⑰ アイゾメヤドクガエル
学名: *Dendrobates tinctorius*
体長最大5cm。体色は黄色、黒、四肢が黒い斑点を持った藍色である。長期間飼育された個体は食べ物の関係から毒を持たないとされる。



⑱ アカメアマガエル
学名: *Agalychnis callidryas*
体長3~7cm。オスよりもメスの方が大きく、目の色が赤く、指の色はオレンジをしている。体の色は毒々しいが毒は持たない。



⑳ サビトマトガエル
学名: *Dyscophus guineti*
体長6~9.5cm。体色は赤やオレンジ、黄色で錆びたような食味の模様や斑点が入る。外敵に襲われた体を膨らませ、皮膚から乳白色の粘着質を分泌する。



㉑ オウカンミカドヤモリ
学名: *Correlophus ciliatus*
体長20cm。和名や英名(クレストッドゲッコー)は眼の上から背中にかけて並ぶトゲ状の鱗を王冠(Crest)に見立てたからとされている。

在校生に聞いた 両生類・爬虫類のミリョク。

爬虫類を好きになったきっかけはなんですか？

小野:入学当時は爬虫類よりサーバルキャットやミアキャットみたいな肉食動物が好きだったんです。でも少しだけ興味があったので、試しに爬虫類チームに入ってみたことをきっかけにどんだのめり込んでいきました。1年生の頃にヒョウモントカゲモドキを自分で買ってからは、本格的に爬虫類が好きになりました。**確かに爬虫類が苦手な人もいますが、実際よく見ると目が可愛かったり、哺乳類などと違って同じ種類でも柄が違ったり、色とりどりだったり、それぞれに個性があるのが魅力だと思います。**

砂田:始めは爬虫類って可愛いかも、と思う程度だったのですが、オープンキャンパスで見た、たくさんの爬虫類が印象に残っていて、入学してから入った爬虫類チームで爬虫類にしかない魅力があることに気づき、さらに好きになりました。哺乳類には鳴き声があるけど爬虫類には鳴き声がほとんどないので、よく観察しないと変化に気づけないところも面白さのひとつです。



一匹一匹の体調を確認しながらヒョウモントカゲモドキにエサを与える小野くん。大好きな両生類・爬虫類だから、愛情をもって大切に飼育します。

小野:哺乳類でも個体によって体色が違ったりしますが、例えば目の色が白か黒かの差くらいなんです。その点ヒョウモントカゲモドキの場合だと、ソリッドアイとかターミネーターアイ、レッドアイなど目にもいろんな柄があったり、体の色もノーマルだけではなく、ハイエローとかレモンなど、色々な黄色があります。また、色の濃さによってモルフ(柄)が違うので、最近では自分で繁殖させて様々な柄を生み出してみたいと思っています。遺伝子を計算するモルフ計算という方法があって、出したい柄を出すためにきちんと計算しないとけないのでなかなか難しいですが、調べれば調べるほどのめり込みますね。それと特に自分はヘビの質感が好きです。爬虫類は毛が生えてないのですが、ヘビは見た目がキラキラしていてウロコに覆われ、とても固そうですが、実際に触ってみると柔らかかったり、しっとりしていたりするギャップが好きです。

砂田:私は動物を飼育するケージ内のレイアウトを自分で考えるのが楽しいです。爬虫類は温度の変化など環境の違いでストレスを感じてしまうので、動物に合わせて植物を入れてみたり木を入れてみたり、色々自分で考えながら試してみても、うまくいったときはとても嬉しいですね。うまくいかない時でも、この次はどうしよう考えるのも勉強になるし、楽しみながらできるところがすごく好きです。



○ヤエヤマアオガエル

普段はどんな感じで飼育していますか？

小野:エサを与える日とそうでない日で分かれていて、エサを与える日は霧吹き、水換え、個体確認などを行います。エサを与える日はヘビにマウスを与えたり、毎日エサを与えているカメにはエサの内容を曜日ごとに**変えたり、雑食の動物には肉と野菜をバランスよく与えたりします。**冷凍の肉だとビタミンが不足してしまう場合があるので、生きたマウスをカメに与えるなど、色々試すこともありますね。スピークセオレガメがビタミン不足で目が腫れた時は、ビタミンが豊富な根菜類や鶏のキンカンを与えるなど、様々な工夫をしたこともあります。

砂田:個体によりエサをあげるペースが違うので、**体重が増えたら少し間隔をあけたり、エサの大きさを調整したりなど、考えながら行っています。**

飼育をするときに気をつけていることは？

小野:自分はヘビに噛まれないように気をつけています。それは**自分が嫌だからではなく、噛むヘビにとってもストレスになるし、もし噛んで人の血の味を覚え気性が荒くなってしまったり飼育の障害になるので、お互いのことを考えて注意を払っています。**また“噛んだら人は手を避ける”と覚えてしまうと噛む回数が多くなるので気をつけています。

砂田:やっぱりストレスを与えないことにとっても気を使いますね。**個体確認をする時に長時間見過ぎることもストレスになるので、体調の変化など小さなことでも見逃さないよう気をつけながら手早く集中して行きます。**

思い出に残っている動物とのエピソードを教えてください。

小野:自分は1年生の頃に担当していた**ノドジロオトカゲの馴化トレーニング**ですね。クリッカー(音が出る器械)を使って音を鳴らしてすぐにエサを



○ノドジロオトカゲ

いつも周りを明るくする笑顔が印象的な砂田さん。爬虫類チームのムードメーカーでもある彼女の夢は、カメレオンを飼うことなんですって。

毎日ワクワクする理由は、 大好きな両生類・爬虫類たちが たくさんいること!



○ハナダイモリ

○フトアゴヒゲトカゲ

おのただあき
小野 由晃さん (2年) 帯広農業高校出身

好きな両生類・爬虫類 **ヘビ!**

学校にいるのではコモンカーペットバイソン! かっこいいし、目が可愛い。ニシキヘビ全般好きです。

すなだ なつみ
砂田 菜摘さん (1年) 白老東高校出身

好きな両生類・爬虫類 **オウカンミカドヤモリ!**

手が平らで壁にベタつく感じが可愛いです。

佐々木先生が語る両生類・爬虫類の面白さ。



ささき たくじ
佐々木 拓司先生

元札幌市円山動物園飼育員 豊富な知識と経験から動物へのアプローチをわかりやすく伝えてくれます。競馬が好き。

エコには何種類の両生類・爬虫類がいますか？

佐々木:全て合わせて**74種131点**います。両生類は30種58点、爬虫類は44種73点です。数が増えたり減ったりはありますが、**たくさん飼育することができるスペースがあるので日々増え続けており、これは動物園にも匹敵するほどの種類だ**と思います。

両生類・爬虫類を飼育している学生の様子はどうですか？

佐々木:普段の飼育実習では、個体確認、霧吹きなど基本的な作業を行います。両生類・爬虫類チームに入って実習以外にも飼育を行えるようになるとエサを与えたり、飼育する環境を作るレイアウトを自分で行うことができます。**両生類・爬虫類を面白いと感じている学生はたくさんいますし、実習室に行っても色々なアドバイスをしています。**実習中以外でも両生類・爬虫類について、よく学生の間で話題になっていますね。



佐々木先生とエメラルドツリーモニター。

○エロンガータリクガメ

飼育している両生類・爬虫類のエサはどんなものですか？

佐々木:基本的に草食用と肉食用に分けており、草食であれば野菜や果物など、肉食であればコオロギやマウスなどを与えています。特にヘビは管理のしやすさを考え、マウスをエサとする種を主に飼育していますね。**エサのコオロギやマウスは学生たちが管理して繁殖させています。**良質なエサを与えるために管理することは、学生たちのトレーニングにもなります。

両生類・爬虫類を飼育する上で気をつけなければならないことは？

佐々木:最初に環境を整えられるかが一番大切です。温度や湿度を保ったり、隠れられる場所を作ったり、どうすれば野生の状態に近づけられるかを考えなくてはなりません。それはただいい感じに土があって草が生えていて、という**見た目だけの自然ではなく、その種や個体に合っている**ということが条件になります。

両生類・爬虫類の面白さはどんなところにありますか？

佐々木:こちらで環境を用意しないと飼育できないというところに面白さがあると思います。哺乳類は比較的どんな環境でも飼育することができますが、両生類や爬虫類は周囲の変化にとってもシビアで、環境が合っていないとすぐに具合が悪くなってしまいます。**自分たちで考え、土や岩、温度などを本来住んでいる自然環境に近いものにしてやる**ことが、両生類・爬虫類を飼育する面白さであり、とても大切なことなんです。

